IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

1. 計測の意義

○ 現在、細菌感染を起こしていないが、手術後の感染をできるだけ防ぐために、抗生物質をあらかじめ投与することを予防的抗菌薬投与といいます。

○ 開胸、開腹を伴う手術等は、手術開始直前に抗菌薬を点滴などで投与することにより、手術後の感染を抑えることが期待されています。

2. 計測対象期間

計測対象期間		提出期限（予定）
24年10月1日～12月31日	（3か月分）	7月31日(木)*
25年1月1日～3月31日	（3か月分）	
25年4月1日～5月31日	（2か月分）	26年1月16日(金)
25年6月1日～9月30日	（4か月分）	

＊7月31日までにご提出が難しい場合は、26年1月16日までにまとめてご提出ください。

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

3. 指標定義・使用データ（サーベイランス）

＜定義・計算式＞

$$\text{計測値}(\%) = \frac{\text{分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数}}{\text{全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数}} \times 100$$

＜使用するデータ＞

DPC様式1	DPC様式3	入院EF統合ファイル	外来EF統合ファイル	サーベイランス	その他
				○	

- 手術開始時刻、抗菌薬投与時刻、麻酔法がわかるデータ・資料（手術記録など）

⚠ *ご留意ください*

令和6年度診療報酬改定に準拠した運用により、**分母の定義を変更**しています。
※眼科手術をはじめとする軽微な手術などは含まれませんので計測の際にご留意ください。

現在の分母定義：全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数
（変更前：手術室で行った手術件数）

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

4. 計測手順（サーベイランス）

1）分母

手順	使用データ	作業
1	手術記録など	全身麻酔手術※で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数を分母とする。

※ 全身麻酔手術とは、当該手術実施時に使用していた麻酔の種類が以下2つのいずれかを含むものを指す。硬膜外麻酔（L002）を併用した場合を含む。

L007:開放点滴式全身麻酔
L008:マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔

2）分子

手順	使用データ	作業
1	手術記録など	分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

5. よくある質問(FAQ)：DPCデータ以外で計測する場合 1/2

最新の「よくある質問(FAQ)」は、オフィシャルサイト(https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2025/#faq)にて随時更新・掲載します。指標ごとのFAQに加え、全指標共通のFAQも掲載していますので、あわせてご参照ください。

管理番号	質問(Q)		回答(A)	更新日
TN250649	データソース	本指標は、入院と外来両方のデータが対象になるのか。	いいえ。入院のみのデータが対象となります。	25.05.14
TN250650	分母/分子	元々手術前から抗菌薬を投与されている症例には、予防的抗菌薬とは異なる方法で抗菌薬が投与されています。 例)元々感染症治療のため抗菌薬が１日２回（朝・夕）静脈投与されており、朝（手術開始前1時間以上前）の抗菌薬が投与されたのち、手術が行われた。 このような症例は、当該指標の対象にならないと判断してよろしいでしょうか？	当該指標はSSI（手術部位感染）を予防するために抗菌薬を投与した場合を対象とします。したがって、もともと感染症治療の目的で抗菌薬が投与されている場合は、当該指標の対象から除外します。	25.05.14
TN250661	分母	分母の対象は、計測対象期間に退院した患者のうち全身麻酔でおこなった手術件数でしょうか？もしくは、計測対象期間中に全身麻酔で行った手術件数でしょうか？	「計測対象期間中に行った全身麻酔手術件数」が対象です。さらに、このうち、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数が分母となります。	25.05.14
TN250672	分母	投与時間のカルテ記載が残っていないため、分子に含められず計測値が低くなっております。 このような場合は、分母から外すことは可能でしょうか。	投与時間が不明な症例は、分母には含めて分子からは除外してください。	25.05.14

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

5. よくある質問(FAQ)：DPCデータ以外で計測する場合 2/2

管理番号	質問(Q)		回答(A)	更新日
TN250683	分母	同一患者に対して、同時に複数の手術が行われた場合や、同一日に複数回の全身麻酔手術を行った場合は、どのようにカウントしますか？	同一患者に対して、同時に複数の手術が行われた場合は、算定件数に関わらず１件とカウントします。同一日に複数回の全身麻酔手術を行った場合は、最初の１件のみをカウントします。	25.05.14
TN250694	分母	「予防的抗菌薬投与が実施された」と扱うことができる投与時期をご教示ください。	投与時期の指定はありませんので、貴院のご判断となります。	25.05.14
TN250708	分母/分子	予防的抗菌薬の種類に制限はありますか？	抗菌薬の種類は問いません。	25.05.14
TN250719	分母/分子	予防的抗菌薬の投与方法に制限はありますか？	抗菌薬の投与方法は問いません。	25.05.14
TN250731	分子	手術開始2時間前から点滴で予防的抗菌薬を投与しているケースは分子に含まれるか。	本指標の分子は、手術開始1時間以内に投与が「開始」された件数ですので、それよりも前に投与が開始されたケースは、分子に含まれません。	25.05.14

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

6. 参照値（24年度可視化プロジェクト計測結果：24年6-9月・サーベイランス）

	全施設	200床未満	200床～399床	400床～599床	600床以上
施設数	252	73	78	61	40
平均値	89.42	85.92	92.15	89.33	90.64
最大値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
75ﾊﾟｰｾﾝﾀｲﾙ	100.00	100.00	100.00	98.86	98.44
中央値	97.53	99.41	98.47	95.95	95.27
25ﾊﾟｰｾﾝﾀｲﾙ	87.28	88.46	93.90	84.12	89.81
最小値	0.03	0.03	10.71	34.03	48.83

IFC-03：手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

7. 参考資料

- 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会, 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン, 2016.
  http://www.gekakansen.jp/file/antimicrobial-guideline.pdf

- 公益社団法人全国自治体病院協議会 医療の質・医療安全指標の評価・公表等推進事業 令和6年度
  「一般15 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率 」
  https://www.jmha.or.jp/contentsdata/shihyo/20250425/i_15.pdf